

こんにちは **けんしん** です。

ごあいさつ



理事長 井上 泰彦

平素は、滋賀県信用組合(けんしん)に格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、平成30年度のディスクロージャー誌「けんしんの現況2019」を作成いたしましたので、ご高覧賜り、当組合に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

平成30年度の日本経済は、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続いたほか、インバウンド需要等の効果もあり、緩やかな回復が持続しました。

各種政策の効果もあいまって運用・雇用環境の改善が続き、景気は緩やかに回復していくことが見込まれてはいるものの、米中貿易問題による中国経済の動向や、海外経済の動向、イギリスのEU離脱といった地政学リスク等により、先行き不透明感が増しています。

当組合においては平成26年12月に金融機能強化法に基づく資本支援を受け、自己資本の充実を図りました。平成30年度は、第2次経営強化計画の中間年度として、役職員一丸となり、地域の皆様への安定的な金融仲介機能の強化及び収益性改善等に向けて継続して取り組んでまいりました。その結果、預金・貸出金期末残高は引き続き増加する中、減少傾向にあった預金の期中平均残高は増加に転じることができました。余資運用収益は減少しているものの、貸出金利息収入は増加を続けているほか、経費の一層の抑制等にも取り組み、金融機関の本来の実力を示すコア業務純益は180百万円を計上、最終利益も386百万円を確保することができました。

地域金融機関をとりまく環境が厳しさを増す中、協同組織金融機関本来の特性である地域密着型金融に積極的に取り組み、金融業務を通じた地域貢献と、経営の健全性向上を図りながら、地域の皆様に信頼され、一層存在感のある金融機関を目指してまいりますので、格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

理事長 井上 泰彦